

勤めながら出来る 発明起業



7

日曜発明ギャラリー代表
小林 豊博



時間が無いから段取り上手になる

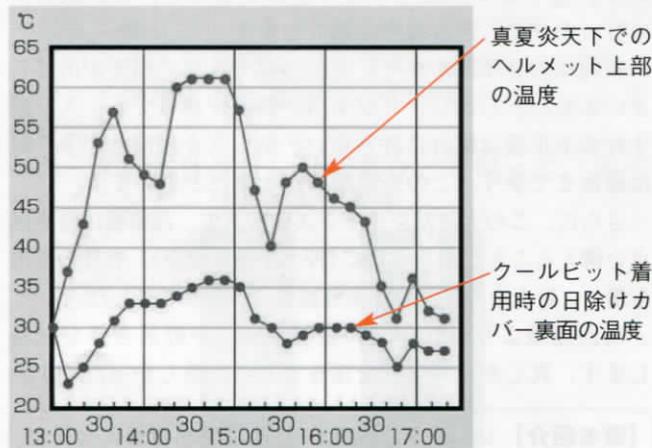
「1ロットは1kmですが、買えますか？」冷える帽子・クールビットの初期の開発時に、水を保水し、気化熱で冷やす為の吸水材が必要でした。生理用品等に使われている使い捨ての不織布に、高分子の吸水剤粒子を混ぜたシートを見つけた時、これは、それを扱う商社からの回答でした。

送られて来たサンプルは幅1.5m、厚さ1mmのいわゆる柔らかい厚紙のようなもので、買うなら、それが1kmの長さだという、これは無理だ。しばらくは、サンプルだけで十分だとしました。

これを、日よけカバーの表と裏の布地の間に縫い付け水に浸すと、吸水し、膨らみました。

それを絞ってみた。強く絞りすぎると、吸水材の粒子が布地から飛び出でてヌルヌルします。これではだめで、後に良い吸水材にめぐり合い、商品化が実現するのでした。

夏の炎天下で、自分で被ってみるのは勿論で、ガンガンの太陽光直下の日曜日、エアコンをかけない車の室内が良い試験場になりました。



日除けカバーの表に温度計を貼り付け、裏と自分の後頭部の間にもう一つの温度計を着けて、日中に庭先の駐車場の車の中で汗ダラダラの男がいたら、ご近所にもおかしな人物と思われる。当然、家族には、徹底して嫌われるわけです。

布地の素材、吸水材の種類、位置、大きさ、縫いつけ方法と、日除けカバーや帽子でも結構検討

要素があったのです。

何にもまして、試験は土日の昼間しかできません。それも真夏の炎天日となると、そんなに多くはチャンスがなく、試験は効率よく、計画的にとなります。趣味が発明の同好家は、こうして時間の使い方、作り方が上手になると思います。

必然的に会社での定時間内の時間の使い方、段取りにこだわる様になります。

会議が一番曲者です。ダラダラ会議が一番イライラします。会議では積極的に自分が仕切る方に回れる立場になれる様にと考え、発言するようになります。

趣味の発明の世界も段取り、時間作りは重要です。なぜなら、全て自分でやらなければ、誰もやってくれる人はいません。企画書も、ネーミングも、キャッチコピーも、デザインも、商品の写真撮りも、特許申請も、試作品作りも、コスト計画も、自分で見通して、商品化が出来るのだろうかとかと問いかけて行動しなければならないのです。

積極的にそういう意識で本業の業務に接していると、人任せにしない、専門知識が豊富な、マルチ人間になっていくと思います

ある時、夏物ばかりで、冬物のアイデアは無いの？と言われました。そこで考えたのが、東洋医学で言う、背中と後ろ首の間にある「風寒のツボ“大堆”を暖める」カイロポケット付きネックウォーマーです。「暖か朗」とネーミングした防寒対策商品になりました。



「暖か朗」、この上から上着を着用します。

釣り、寒い屋外作業、暖房の温度設定が低い屋内等で上半身が6時間以上暖まると好評です。

これも、全て自分で特許申請をし、意匠登録、商標登録までを行った商品です。

今回はスポンサー会社との情報交換法を話します。

【著者】ある大手電機会社の開発エンジニアを30年ほど経験、その後、住宅設備営業企画部門へ転属。そのころから趣味の発明を始め、「冷える帽子クールビット」で特許、意匠、商標等多数登録。定年を契機にその会社の運営に携わる。

No.655

3月号

2010年

発明ライフ



発行所 社団法人 発 明 学 会

発行・編集人 平井 工

〒162-0055 東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル

☎ 03-5366-8811(代) FAX 03-5366-8495

ホームページ <http://hatsumei.jp>

郵便振替口座 00110-2-159673

年間購読料送料共 5,000円/1部500円(送料68円)

(会費中に購読料を含む)

小さな発明で努力が報われる

よから

特許は面白い

“帯締めめの房カバー”

●拒絶にめげなかった特許

女性の和服、その帯締めめの両端の房を保護する「房カバー」という小さな発明に取り組んだ須川長一郎さん。現在の年商は2千万円。この発明ストーリーはたびたび紹介しているので、ご存知の方は多いと思います。

モノは、ポリピレンの略四角形シート。これをクルクルと円筒状に巻いて巻きグセをつけ、帯締めめの房に被せるものです。「こんなものが…」といわれるような小さな発明です(写真、図)。

さてこの発明、須川さんが初めて特許出願をしたものです。特許出願書類の作成も、まったく初めて。発明学会の指導を受けながら、無我夢中で作成しました。しかし、審査ではあえなく拒絶理由の通知を受けました。落ち着いて調べると、出願の90%は拒絶を受けていることがわかり、改めて闘志がわきます。これも初めてのチャレンジになりますが、頑張っ、て、専 門 家 にも 教 えて も ら い な が ら、意 見 書、補 正 書 を 作 成 し ま し た。こ の 結 果、つ い に 特 許 査 定。み ごと に 権 利 を 勝 ち 取 り ま し た (特 許 第 4 2 8 8 7 6 3 号)。昨 年 の こ と で す。

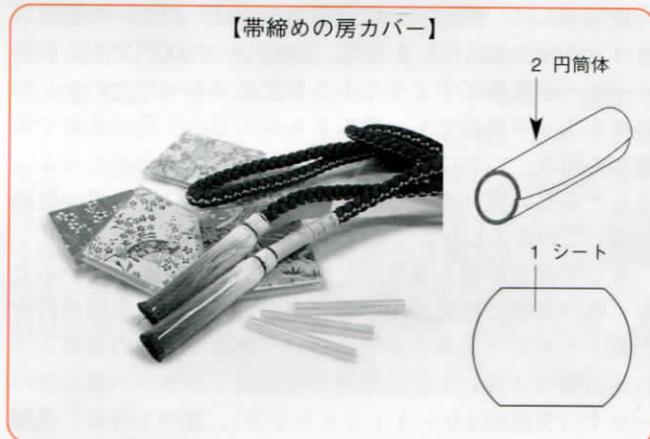
●類似の先願にショック、しかし…

発明のきっかけは、お茶の先生をしている須川さんのお姉さんから、帯締めめの房を保護する器具を作って欲しい、と頼まれたことでした。

お姉さんは、須川さんが手作りにした試作品の房カバーを使って、喜んでくれます。お姉さんの仲間にも好評です。須川さんは自信を持って東京日曜発明学校で発表すると、出席者が約100人のうち、人気投票では3票の得点でした。散々な結果です。先輩発明家たちの評価は、「モノが小さすぎて商売にならないよ」ということでした。

しかし、呉服屋さんに見せると評判がよいのです。お金が

【帯締めめの房カバー】



発明ライフ -3月号の目次-

- 小さな発明で努力が報われる ……………1・2
- 発明商品化ニュース「薬の予定ボード」……………3
- 発明事業化ニュース「数種類のボトルに対応、キャップ&プルトップオープナー」……………4
- 発明事業化ニュース「楽しみながら学習“数学ビル”」…5
- 発明事業化ニュース「温泉タオル」……………6
- 勤めながらできる発明起業⑦……………7
- 発明が発する幸福感⑦……………8
- アイデア求めます
「生活雑貨、贈答品」「金型利用の小物製品」…………9
- この会社に商品化提案⑩「家庭インテリア品」…10
- アイデアライフ・町田典留見さん……………11
- アイデア探訪「椅子考」……………12
- 知的財産管理技能士受験/東京日曜発明学校/会館ご寄付者……………13
- 発明と特許講座のご案内……………14・15
- 商品化の道が開く「アイデア流通展示室」…………16